

科学技術人材育成費補助事業 女性研究者研究活動 支援事業（一般型）平成25年度-27年度 活動報告書 2-7. 学内設備の拡充

雑誌名	科学技術人材育成費補助事業 女性研究者研究活動 支援事業（一般型）平成25年度-27年度 活動報告書
ページ	113
発行年	2016-03
URL	http://hdl.handle.net/10258/00009428

大学自主経費により、学内設備の拡充を行った。本学ではこれまでベビーキープ、ベビーシート（おむつ替え台）の設置が一箇所もなかったが、平成25年度末から平成27年度にかけて学内6箇所に設置した。女性だけではなく男性も利用できるよう考慮し、多目的トイレに整備した。このうち、食堂や多目的ホールがあり市民の利用も多い学生会館は、室蘭市「赤ちゃんの駅」に登録された。

女性研究者支援ユニットでは、授乳や休憩時に安心して過ごせるよう、ソファや視界を遮るついたてを置き、スペースを確保した。妊娠時など楽な姿勢で作業を行うためのノートPC等も用意した。このほか、A棟3階の女子トイレに授乳用の個室を整備した（写真）。

また、学内の女子トイレが少ないなどの要望をもとに、学内や学外施設のトイレを点検・視察し、関係部署と改善にむけて努力している。一部の「身障者便所」標示を「多目的トイレ」に変更した。

子連れ研究者等の安全を考慮して、学内の危険な階段手すり等に転落防止措置をする必要性を訴え、アクリル板が設置された。

平成23年に新設された女子寮に行き、入居者や管理人からの意見を直接集め、関係部署や上位職へ今後の改善に関する要望を上げた。平成28年4月には二つめの女子寮が完成し入居が始まった。



ベビーキープ



ベビーシート



授乳用個室



授乳用個室内部